資料２

長野市芸術館の市民利用の促進と子どもの文化芸術活動の支援について

文化スポーツ振興部文化芸術課

１　概要

◆平成29年４月からスタートする第二次長野市文化芸術振興計画に合わせ、開館から１年を迎える長野市芸術館の市民利用の促進と子どもの文化芸術活動の支援に、長野市文化芸術振興財団とともに総合的に取り組むもの

２　子どもの文化芸術活動の支援について

～子ども・学生の利用を促進し、創造力や感性を育みます。～

（１）ホール子ども利用料金の割引について

市内の子ども（高校生以下）の団体等が、芸術館のホールを入場料区分3,000円以下で利用する場合に利用料金を割り引くもの

＜対象者＞　幼・保、小中学校、高校、子どもの文化芸術活動を行う個人・団体・法人
※障害者・団体にも適用

＜割引内容＞　ホールを文化芸術活動に利用する場合に、施設利用料金及び附属設備利用料金を半額とする。（冷暖房費は割引対象外）

＜適用日＞　平成29年８月１日利用分から

※参考

【他ホールの減免（割引）状況】

対象団体	ホクト文化ホール	まつもと市民芸術館（松本市）	サントミューゼ（上田市）	上越文化会館（上越市）	オーバード・ホール（富山市）
幼・保、小中学校	半額（利・附）	全額（利・附）	全額（利・附）	半額（利・附）	半額（利・附）
高校	半額（利・附）	半額（利・附）	半額（利・附）	半額（利・附）	半額（利・附）

※（ ）内の利・附は、それぞれホール利用料金、附属設備利用料金の減免適用対象を示す。
※冷暖房費は、富山を除く各ホールが減免（割引）を適用している。

【他ホールとの施設利用料金比較（メインホール規模で比較）】

算出条件：昼間（概ね９時から17時）、土日休日料金、500円の入場料を徴収、子ども・学生が利用した場合

施設名	規模	席数	ホール施設利用料金	減免（割引）後料金	
				幼・保、小中	高校
長野市芸術館	メインホール	1,292席	143,400	143,400 (71,700)	143,400 (71,700)
ホクト文化ホール	中ホール	1,070席	86,000	43,000	43,000
まつもと市民芸術館	中ホール(相当)	1,367席	90,168	0	45,084
上田市サントミューゼ	中ホール(相当)	1,274席	76,700	0	38,350
上越文化会館	大ホール	1,504席	87,600	43,800	43,800
富山市ｵｰﾊﾞｰﾄﾞ･ﾎｰﾙ	中ホール(相当)	1,472席	155,520	77,760	77,760

※（　）内は子ども割引を適用した金額
※まつもとは昇降天井を下げ、上田は1階及び第1バルコニー、富山は1～3階を利用した場合
※冷暖房費は、別途追加（ただし、長野及び富山以外は、全額又は半額減免（割引）。）

（２）大型楽器の購入について

学校、音楽団体等への要望調査において利用希望の多かったティンパニ及びバスドラムを購入する。（条例改正を予定）

＜購入数量＞
ティンパニ４台、バスドラム１台
＜利用開始予定＞
平成29年９月１日から
＜利用料金＞
１区分　１台500円

ティンパニ

バスドラム（大太鼓）

（３）子ども優待シート（財団事業）

長野市文化芸術振興財団が長野市芸術館（主にメインホール）で主催する公演において、企業協賛を活用し、子どもや若者を対象とした低額な料金設定を導入する。

＜キッズシート＞

➢高校生以下を対象に、指定エリアのチケット料金をワンコイン（500円）に設定

＜Ｕ２５シート＞

➢25歳以下を対象に、Ｓ席、Ａ席又はＢ席（公演による）のチケット料金を半額に設定

（４）その他

〇継続実施

- 長野市子ども文化芸術賞
- 子どものための文化芸術プログラム（子ども演劇鑑賞会、子ども音楽団体への助成）
- 長野市民演劇祭
- 音楽キャラバンの実施（財団事業）
- サマー・キッズ・デイズＮＡＧＡＮＯの開催（財団事業）
- ナガノ・チェンバー・オーケストラ（ＮＣＯ）の公開リハーサル、アウトリーチの実施（財団事業）　など

〇今後の取組予定（H30年度以降）

- 子ども音楽鑑賞会の開催
  長野市芸術館メインホールを会場に、市内の児童又は生徒を対象とした国内のプロオーケストラによる音楽公演の鑑賞会を実施する。
- 童謡唱歌を題材とした子ども向けプログラムの開催（財団事業）
- 子ども文化芸術団体の育成と活動支援（財団事業）

３　市民利用の促進について

（１）附属設備利用料金の設定について

附属設備を一日を通して利用する場合に、施設利用料金と同様の基準を設定するもの（条例改正を予定）

＜対象者＞

全利用者

＜料金内容＞

附属設備（楽器、備品等）を全日（午前、午後、夜間の一日を通して）で利用した場合、10%割り引いた額とする。

＜適用日＞

平成29年４月１日利用分から

（２）市民参加プログラムについて（財団事業）

プロと市民との共演プログラムを増やすもの

平成29年５月５日（金・祝）	子ども音楽（ジブリ）フェスティバル
７月９日（日）	～信州NAGANOを声にのせて～男声合唱団ZEN × 群響
10月14日（土）	尾高忠明指揮 ensemble NOVA※ with 松橋朋潤（ピアノ） ※長野出身・在住メンバーによるプロオーケストラ
平成30年３月25日（日）	長野市民による合唱「カルミナ・ブラーナ」公演

４　第三者評価委員会の設置について（財団事業）

文化芸術の専門家や利用者等に意見を求め、事業計画の達成度や効果を定期的に評価・検証し、今後の事業運営に反映するもの

＜任期＞
平成29年３月から平成31年３月

＜メンバー８名以内＞
（県外）
音楽評論家・文化行政研究者
演劇評論家・先進市ホール運営責任者
（市内）
音楽家・学識経験者
音楽指導者・利用者
地域文化・美術専門家
プロモーター

＜評価の流れ（４つのステップ）＞

①長野市芸術館のミッションの確認と評価体系の構築
②評価データの調査・分析と段階評価に基づいた自己チェック・自己評価
③評価委員会による第三者評価と改善計画の策定
④評価結果の市民への公開、運営・経営改善計画の実施とミッションの点検・再設定